

※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



東京の産業と教育（電子版）

第61号 令和7年8月29日



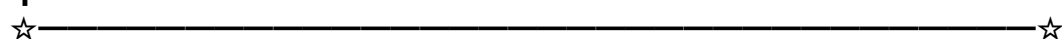
この会報電子版は、専門高校を中心とした産業教育の魅力を発信しています。

会報電子版の記事は、都産振HPにも一部掲載されております。合わせてご覧いただければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

東京都産業教育振興会HP <https://www.tosanshin.org/>

☆今号のコンテンツ

- 【1】 都立工科高校ドリームフェスタ 2025 の報告（7月）
- 【2】 令和7年度都立高校 EXP0 第一部の報告（7月）
- 【3】 都立八王子桑志高等学校訪問（7月）
- 【4】 西多摩地域産業教育懇談会について（8月）
- 【5】 産学懇談会（第3回）についてのお知らせ（12月予定）
- 【6】 情報提供のお願い



【1】 都立工科高校ドリームフェスタ 2025 の報告（7月）

令和7年7月27日(日)午前10時00分から午後5時00分まで、新宿住友ビル三角広場及び住友ホールにて、「都立工科高校ドリームフェスタ2025」が開催されました。

このイベントは、東京都教育委員会が「ワクワクが未来を創る」をコンセプトに、都立の工科高校が一堂に会し、工科高校の魅力がわかるステージの開催や、ものづくりやデジタル技術の体験機会が提供されていきました。また、パンフレットだけでは分からない、工科高校のリアルな雰囲気や魅力を肌で感じることができました。さらに当日は、豪華出演者が参加するステージイベントも開催されました。



当日は、5,000 人を超える入場者が訪れていました。各学校担当者がブースに訪れた方々に丁寧に説明している様子が見られ、工科高校の魅力が伝わっていたと感じました。会場は常に多くの方々に熱気にあふれ、工科高校の人気の復活につながっていくと強く感じました。

東京都ではものづくりが迎える新たな局面に向き合い、社会からの期待に応える工業高校を目指すため、「Society5.0 を支える工業高校の実現に向けた戦略プロジェクト Next Kogyo START Project」を 2022 年に策定しました。本イベントは、Society5.0 時代に、創造的な活動により、新しい価値の創出や都市課題の解決に貢献できる人材を輩出する工科高校の魅力を伝える施策の一環となります。



【2】令和7年度都立高校 EXPO 第一部の報告（7月）

令和7年7月26日(土)～27日(日)、新宿NSビルを会場として、東京都教育委員会は、これまで秋に実施していた「都立高等学校合同説明会」をリニューアルし都立高校の魅力や特色を発信するイベント「都立高校 EXPO」第一部を開催しました。

都立高校 EXPO では、これまでの個別相談に加え、在校生との交流や魅力的な教育活動を紹介する機会等を新たに設けました。会場には、多くの方々が訪れ、活気にあふれていました。

ここでは、商業・農業・産業・家庭・福祉・水産ブースを取り上げました。



【3】都立八王子桑志高等学校訪問（7月）

7月28日(月)、都立八王子桑志高等学校（以下、都立八王子桑志高校）を訪問しました。都立八王子桑志高校はJR西八王子駅から徒歩15分程度の平静な住宅地の一角にあります。

平成 19 年 4 月に開校した新しいタイプの都立高等学校で、日本で初めて設置された「産業科」の高校です。「情報通信技術と活用能力」「ものづくりやビジネスの基礎」を総合的に学ぶ専門高校で、デザインとコンピュータに特色のある教育を行っています。デザイン、クラフト、システム情報、ビジネス情報の 4 つの専門分野があります。

システム情報分野では、基本情報技術者、IT パスポートの国家試験合格をめざしています。基本情報技術者は、東京都立高校では数少ない、午前試験免除の認定校となっています。

工業を学ぶクラフト分野では、全国工業高等学校長協会の基礎製図検定、機械製図検定、初級 CAD 検定、情報技術検定、計算技術検定 CSAJ の CAD 利用技術者試験合格を目指しています。現在、実習、課題研究等の授業では SolidWorks を用いており、3DCAD について学ぶことが可能です。

特に都立八王子桑志高校では、社会で活躍できる人材を育成するため、教育の基本方針として、次の 4 つの柱からなる「千の夢計画」を掲げています。

『第一の柱』生涯をつらぬくキャリアをデザインする。

『第二の柱』だれにも負けない得意技を身に付ける。

『第三の柱』進路第一希望を実現する学力と教養を身に付ける。

『第四の柱』世の中の役に立つ人間になる。

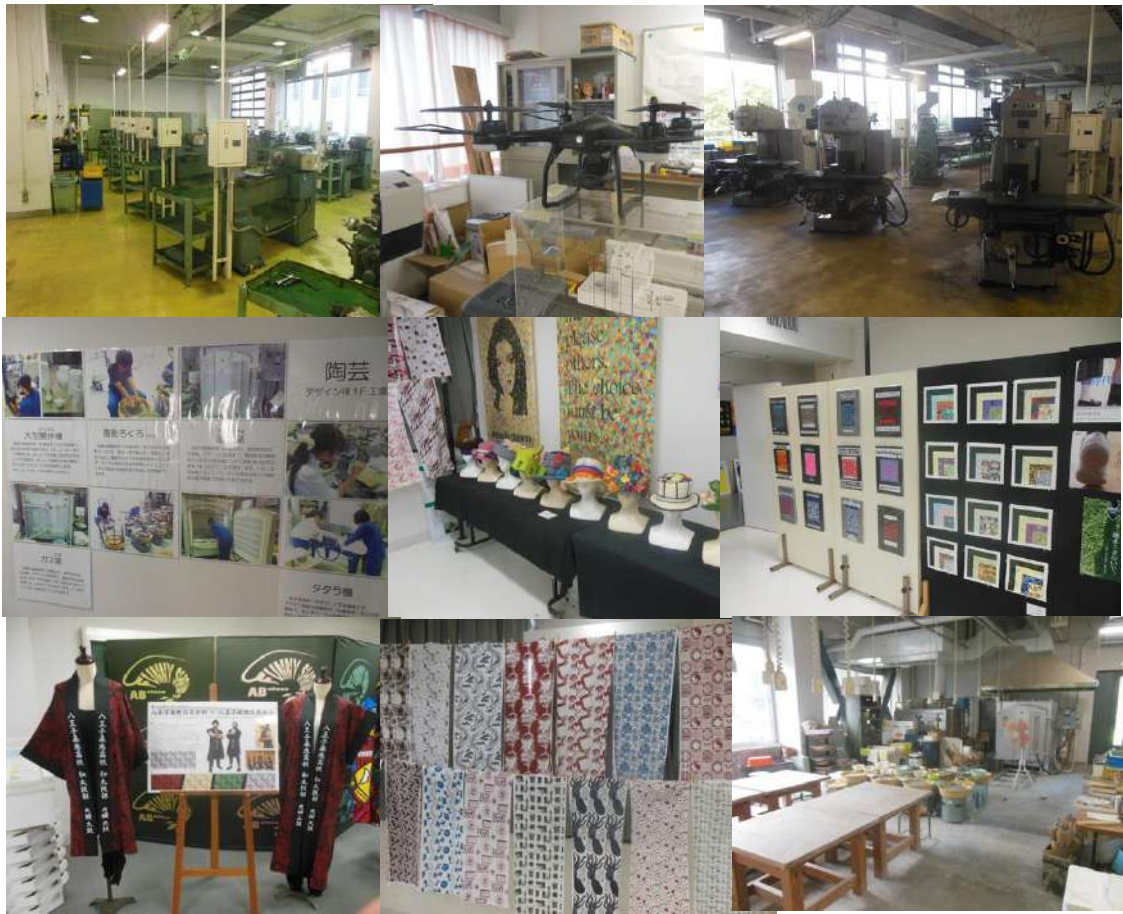
この「千の夢計画」の実現に向けては、校内での教育活動の充実はもちろんのことながら、生徒により実践的な学びの場を提供すべく、数多くの地域の企業・団体・学校の皆様から多大なるご協力をいただいております、その成果として、毎年 100%に近い進路決定率を残すことができています。

奥脇次郎統括校長からは、学校概要をお話しいただき、校内見学となりました。見学後、奥脇統括校長から特色ある教育活動について学校 P R 映像を交えて詳しく説明を頂きました。その後、施設見学・学校説明に対する質問・感想を述べました。また、産業科の現状と課題、教育活動への期待について意見交換を行い、有意義な機会となりました。

奥脇統括校長をはじめ、都立八王子桑志高校の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

なお、来年度の産学懇談会を都立八王子桑志高校で開催したいと思っております。





【4】西多摩地域産業教育懇談会について（8月）

8月21日（木）、令和7年度西多摩地域産業教育懇談会を福生市商工会扶桑会館で開催しました。

まず、会の冒頭挨拶を西澤宏繁東京都産業教育振興会会長より頂き、続きまして、福生市商工会山下真一会長、あきる野商工会松村博文会長、羽村市商工会島田哲一郎会長、瑞穂町商工会久松元大副会長よりご挨拶を頂きました。

その後、参加されている方々より自己紹介をして頂いた後、情報交換、今後の取組みなどについての意見交換がなされ、大変有意義な機会となりました。

なお、この事業は、西多摩地域を愛し、西多摩地域で働き、西多摩地域を活性化させていく人材の育成を目的とし、商工会・商工会議所が学校に対して実施するものとして、求人情報の提供、企業紹介、インターンシップ、長期就業体験、デュアルシステム受入先企業の紹介、講演会講師の派遣、教員対象研修会の実施、キャリア教育資料の提供、企業見学会の実施など多くの支援を行っております。その他に商工会・商工会議所が企業に対しても同様に支援を行っています。



○今回情報交換に参加された皆様

都立五日市高等学校長	松崎 真理子
都立秋留台高等学校長	中村 勝徳
都立多摩高等学校長	上村 礼子
都立多摩工科高等学校長	坂田 安永
都立羽村高等学校長	神谷 画歩
都立福生高等学校副校長	村田 聖士
都立瑞穂農芸高等学校長	大畑 哲也
都立青梅総合高等学校長	川口 元三
あきる野商工会 会長	松村 博文
事務局長	横田 誠
福生市商工会 会長	山下 真一
事務局長	山崎 秀樹
羽村市商工会 会長	島田 哲一郎
事務局長	清水 晋
瑞穂町商工会 副会長	久松 元大
事務局長	海和 将也
日の出町商工会 事務局長	田中 剛
青梅商工会議所 地域振興課長	細川 卓也
東京都産業教育振興会 会長	西澤 宏繁
東京都産業教育振興会事務局長	安藤 紗季
東京都産業教育振興会事務局	花野 耕一
東京都産業教育振興会事務局	早川 忠憲

【5】産学懇談会（第3回）についてのお知らせ（12月予定）

産学懇談会（第3回）は、12月上旬に高田馬場駅から徒歩1分のところにあります学校法人川口学園早稲田速記医療福祉専門学校を予定しております。

10月中には、参加依頼文書を発出する予定です。

早稲田速記医療福祉専門学校は速記の普及を目的に1935年に設立されました。その後時代の変化に対応し、1972年に日本初の医療秘書科を開設されました。50年以上経た現在、医療秘書教育の伝統校として病院から高い評価を得ています。1997年には介護福祉科を開設し、医療と福祉の分野で「専門事務職」と「専門技術職」のスペシャリストを多数輩出してきました。今年で90周年、その後の100周年に向け、時代の要請に沿った教育の質をさらに高め、社会に貢献できる人材を育成します。



社会に貢献できる人材を育成します。

学校法人川口学園理事長・早稲田速記医療福祉専門学校川口拓也校長は、「建学の精神「不偏不羈（ふへんふき）=かたよらず、とらわれず」のもと、これまで30,000名以上の卒業生を輩出してきました。世界有数の高齢化社会である我が国では、医療・福祉分野において関連専門領域の知識はもちろん、コミュニケーション等人間的スキルに加え、

IT 等のテクノロジーも兼ね備えた思いやりある人材が求められています。これらを身につけられる教育を同校は行っています。」とお話しされています。
ぜひ、産学懇談会（第3回）にお越しくださるようお願い申し上げます。

【6】情報提供のお願い

特色ある教育活動情報など、ホームページに掲載したもの、あるいは掲載していないけれども会員の皆様に知ってもらいたいものがありましたらお気軽に事務局早川までご連絡ください。会報電子版でご紹介させていただきます。

【お願い】

この「東京の産業と教育（電子版）」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会の会員校や会員企業の内部では情報共有してくださるようお願いいたします。

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内
東京都産業教育振興会 事務局 （担当：早川）
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247
E-mail: Tadanori_Hayakawa@member.metro.tokyo.jp
